

平成 27 年 1 月 19 日
北九州市環境局

安全かつ早期の処理完了に向けた市のこれまでの取組状況

1. 処理の安全性確保について

(1) 輸送路の安全対策

- 処理期間中の収集運搬経路の安全確保に万全を期すため、国の補助金を活用して安全対策に関する検討調査を実施。

(2) 事故時の消防体制

- 万が一、P C B 収集運搬・処理時に火災・漏洩事故が発生した場合に備え、消防活動用資機材（化学防護服、防毒マスク、油吸着マット等）を更新・配備。

火災等の事故が発生した場合には、あらかじめ策定されている特別な出動計画と防ぎょ計画（各隊の役割分担）に基づき、消防自動車、化学物質に起因する災害に対応できる特殊な車両や救急車など、初期対応として 16 隊（1 隊は 3～5 名の消防士で構成）が速やかに現場に駆けつけ、消火、人命救助活動や漏洩物質の拡散防止などの対応を迅速に行う体制を整えている。

2. 期間内での確実な処理について

(1) 広域協議会の開催

- 北九州エリアの広域協議会はもとより他地域の広域協議会等に出向き、関係自治体に対して P C B の安全かつ一日も早い処理完了に向けた取組みの強化を要請。
さらに東京都以西 31 都府県・政令市等に参加を呼びかけ、「北九州 P C B 処理事業の見直しに伴う広域連携会議」を今月末に本市で開催する予定。

(2) 市内に残る P C B 廃棄物の処理

- J E S C O 等と密接に連携しながら、市内に残る P C B 廃棄物の処理を加速化。
- 市内事業所に対し、P C B 含有機器が残存していないか把握の徹底を求める通知。

3. 地域の理解について

(1) 市民向け「環境先進地域見学ツアー」の開催

- 響灘地域の P C B 処理施設、エコタウン企業、ビオトープやエネルギー関連施設を視察するバスツアーを開催。
参加した市民からは、「個人では見学できない場所もあり、有意義であった。」「同様のツアーをまた企画して欲しい。」などの声を多くいただいた。

(2) 市民だよりの見直し

- 本市での P C B 処理事業に関する幅広い情報を市民により分かりやすくお知らせするため、広報誌「P C B 処理だよりの見直し」としてリニューアルし、幅広く配布。

(以上)